

事務事業評価シート

(H.28)No.	1062	(H.27)No.	1062
-----------	------	-----------	------

事務事業名	放課後児童健全育成事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
福祉子ども部	子ども家庭室	福地 さおり	

会計区分	事業コード	193501
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 民生費	放課後児童対策事業	
項 児童福祉費	(小事業名)	
目 児童福祉総務費	放課後児童健全育成事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本施策	5	自立を支える地域福祉の充実
	施策	3	子育て・子ども支援
	小施策	3	地域における子育て支援の充実
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
留守家庭児童の健全な育成を図るとともに、保護者の仕事と家庭の両立支援を図る。 地域における福祉ネットワークのさががけとなり、子育て支援の充実に寄与している。
事業内容
保護者の就労等により、昼間、保護指導を受けることができない留守家庭児童を対象にその健全な育成を図る。 校区ごとの地域で組織された運営委員会に放課後児童クラブの運営を委託。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.27年度(事業量・取組実績)	H.28年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画	・放課後児童クラブの運営管理 クラブ数:16箇所 登録児童数:793人 (4月時点、8日以上利用者数:511人)	・放課後児童クラブの運営管理 クラブ数:17箇所

H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)
・放課後児童クラブの運営管理	・放課後児童クラブの運営管理	・放課後児童クラブの運営管理

	H.27年度(決算見込)	H.28年度(作成時予算額)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)
①直接事業費	52,495千円	51,494千円	51,494千円	51,494千円	51,494千円
内訳(千円)					
国・県支出金	34,138	33,523	33,523	33,523	33,523
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 18,357	17,971	17,971	17,971	17,971
人工数					
職員	0.45人	0.49人	0.49人	0.49人	0.49人
臨時職員等	0.02人	0.02人	0.02人	0.02人	0.02人
②概算人件費	(0千円) 3,454千円	3,758千円	3,758千円	3,758千円	3,758千円
①+②総事業費	(0千円) 55,949千円	55,252千円	55,252千円	55,252千円	55,252千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.27年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
子ども・子育て新制度が平成27年4月1日から施行し、施設の運営基準が明確にされた。関係部局との連携を図りながら、保育環境の整備、支援員等の人材確保等が今後の検討課題である。	施設の運営基準に基づき、関係部局及び関係機関との連携を図りながら、さらに利用ニーズに即した保育環境の整備、支援員等の人材確保等に努める。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	発達障害を持つ児童の受入れにあたっては、関係機関と連携を図って受入れ体制を整備し、支援員等の資質向上等保育環境の整備に努めた。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している(※実践内容を記載→)	14箇所の小学校区において、地域で組織された運営委員会に放課後児童クラブの運営を委託している。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(改善)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画 ぱりっ子すくすく計画
子ども・子育て新制度が平成27年度に施行したことにより、利用児童数は増加傾向にあり、保育室及び支援員等の確保等、同事業の必要性がさらに高まっている。	